学校番号	2004

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語読解特講	2	3	LOOP3 改訂版 (啓隆社)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語読解特講では４技能のうち「読む」ことに特化して行う。幅広い領域に関する実践的な英文を読解していくため、英文法や語法・語彙といった基本的な事項についてはしっかりと理解したうえで臨むこと。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・事実と意見などを区別して聞くことができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・事実と意見などを区別して読むことができる。 ・説明や物語などを、聞き手に伝わるように音読することができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見を交換したりすることができる。 ・与えられた話題について、即興で話すことができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見を交換したりすることができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔な文章を書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ・事実と意見などを区別して書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の文法、語彙、発音、句読点などの基礎的な知識を習得する。 長文読解に必要な力を習得する。 様々な形式のテキストや音声資料に触れ、それぞれの特徴や構造を理解する。	読んだり聞いたりした内容を分析し、主張や論理の妥当性を評価する。 自分の意見や考えを論理的に整理し、他者に対して明確かつ説得力のある形で表現する。 異なる視点や意見を比較し、情報の真偽や信憑性を判断する能力を養う。	生徒間の話し合いやペアワークに積極的に取り組み、自分の意見を言うことができる、また相手の意見も尊重することができる。 課題や授業中の取り組みにも積極的に行い期限を守って提出することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson 1-4	聞くこと	a: 本文の音声等で正確に情報を聞き取る技能を習得している。 b: 本文の内容を基に、音声から主要なアイデアや情報を選別し、要約する技能を習得している。 c: 日常生活や授業でのリスニング機会を積極的に活用し、ペアでのやりとりでコミュニケーションを図ろうとしている。	授業内ペアワーク
		読むこと	a: 読解に必要な文法に基づいて読むことができる。 b: 長文読解において、題材を適切に理解した訳出ができる。 c: 興味を持ったテーマに関する追加の読書や調査を行い、自己学習を深めようとしている。	リーディング 小テスト
		書くこと	a: テーマに対するエッセイやレポートで正確な文法と語彙を使用し、情報を明確に伝えることができる。 b: 論理的な構造でアイデアを展開し、自分の意見を支持するための根拠を提供することができる。 c: フィードバックを受け取り、自己改善のためにエッセイを再検討し、成長を促進しようとしている。	エッセイ ライティング
		話すこと [発表]	a: ディスカッションやプレゼンテーションで正確で流暢な英語を使用し、情報を伝えることができる。 b: 質問に対する適切な返答や意見の述べ方、論理的な議論の展開を行うことができる。 c: 授業内発表においてグループで協働して発表を行おうとしている。	プレゼンテーション
	中間考査			
	Lesson 5-9	聞くこと	a: 本文の音声等で正確に情報を聞き取る技能を習得している。 b: 本文の内容を基に、音声から主要なアイデアや情報を選別し、要約する技能を習得している。 c: 日常生活や授業でのリスニング機会を積極的に活用し、ペアでのやりとりでコミュニケーションを図ろうとしている。	授業内ペアワーク
		読むこと	a: 読解に必要な文法に基づいて読むことができる。 b: 長文読解において、題材を適切に理解した訳出ができる。 c: 興味を持ったテーマに関する追加の読書や調査を行い、自己学習を深めようとしている。	リーディング 小テスト
		書くこと	a: テーマに対するエッセイやレポートで正確な文法と語彙を使用し、情報を明確に伝えることができる。 b: 論理的な構造でアイデアを展開し、自分の意見を支持するための根拠を提供することができる。 c: フィードバックを受け取り、自己改善のためにエッセイを再検討し、成長を促進しようとしている。	エッセイ ライティング
		話すこと [発表]	a: ディスカッションやプレゼンテーションで正確で流暢な英語を使用し、情報を伝えることができる。 b: 質問に対する適切な返答や意見の述べ方、論理的な議論の展開を行うことができる。 c: 授業内発表においてグループで協働して発表を行おうとしている。	プレゼンテーション
	期末考査			
後期	Lesson 10-14	聞くこと	a: 本文の音声等で正確に情報を聞き取る技能を習得している。 b: 本文の内容を基に、音声から主要なアイデアや情報を選別し、要約する技能を習得している。 c: 日常生活や授業でのリスニング機会を積極的に活用し、ペアでのやりとりでコミュニケーションを図ろうとしている。	授業内ペアワーク
		読むこと	a: 読解に必要な文法に基づいて読むことができる。 b: 長文読解において、題材を適切に理解した訳出ができる。 c: 興味を持ったテーマに関する追加の読書や調査を行い、自己学習を深めようとしている。	リーディング 小テスト
		書くこと	a: テーマに対するエッセイやレポートで正確な文法と語彙を使用し、情報を明確に伝えることができる。 b: 論理的な構造でアイデアを展開し、自分の意見を支持するための根拠を提供することができる。 c: フィードバックを受け取り、自己改善のためにエッセイを再検討し、成長を促進しようとしている。	エッセイ ライティング

		話すこと ［発表］	a: ディスカッションやプレゼンテーションで正確で流暢な英語を使用し、情報を伝えることができる。 b: 質問に対する適切な返答や意見の述べ方、論理的な議論の展開を行うことができる。 c: 授業内発表においてグループで協働して発表を行おうとしている。	プレゼンテーション
	中間考査			
	Lesson 15-17	聞くこと	a: 本文の音声等で正確に情報を聞き取る技能を習得している。 b: 本文の内容を基に、音声から主要なアイデアや情報を選別し、要約する技能を習得している。 c: 日常生活や授業でのリスニング機会を積極的に活用し、ペアでのやりとりでコミュニケーションを図ろうとしている。	授業内ペアワーク
		読むこと	a: 読解に必要な文法に基づいて読むことができる。 b: 長文読解において、題材を適切に理解した訳出ができる。 c: 興味を持ったテーマに関する追加の読書や調査を行い、自己学習を深めようとしている。	リーディング 小テスト
		書くこと	a: テーマに対するエッセイやレポートで正確な文法と語彙を使用し、情報を明確に伝えることができる。 b: 論理的な構造でアイデアを展開し、自分の意見を支持するための根拠を提供することができる。 c: フィードバックを受け取り、自己改善のためにエッセイを再検討し、成長を促進しようとしている。	エッセイ ライティング
		話すこと ［発表］	a: ディスカッションやプレゼンテーションで正確で流暢な英語を使用し、情報を伝えることができる。 b: 質問に対する適切な返答や意見の述べ方、論理的な議論の展開を行うことができる。 c: 授業内発表においてグループで協働して発表を行おうとしている。	プレゼンテーション
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度